



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



磐田地区、浜松西地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施！（令和2年5月中）

磐田地区、浜松西地区安全運転管理協会では、この5月中に地区内において発生した交通死亡事故の再発防止を期して、新型コロナウイルス対策を講じた上で管轄警察署が実施した「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの交通事故防止対策等について協議しました。

【磐田地区】

5月21日（木）、磐田警察署、磐田市役所、交通安全協会地区支部、地元自治会等関係団体と、磐田地区安全運転管理協会から事務局長が出席、合計12名により

5月15日（金）の午後、磐田市豊岡地先の県道で発生した交通死亡事故（オートバイと軽四貨物とが正面衝突した交通事故、双方の男性運転者2人が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は天竜川東側の堤防道路で、片側1車線の直線道路のうえ見通しは良いが、大型トラックなど交通量が非常に多く、現場診断及び対策を協議した結果

- 直線道路で見通しが良く速度が出やすいため、速度抑制の注意表示を設置
- センターラインや路側帯を引き直して明確化し、路肩のドット舗装も検討
- 通行車両のドライバー、会員事業所に対する交通事故防止の広報啓発活動

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】

【浜松西地区】

5月27日(水)、浜松西警察署、浜松市役所、交通安全協会地区支部、自治会、地域交通推進委員の関係団体のほか、地区安全運転管理協会からは浜松西地区と現場が隣接する細江地区の事務局長等が参加、合計25人により

5月12日(火)の午後、浜松市西区深萩町地先の市道で発生した交通死亡事故(軽四乗用車が道路脇ブロック塀に衝突した単独事故、運転の76歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は見通しの良い1車線の直線道路で、路側帯の道路標示が見えにくい箇所があり、現場診断及び協議を検討した結果

- 左右の路側帯表示を15cmから20cmに太く引き直して視認性を確保
- ドライバーに対して、シートベルト着用の徹底やサポカー導入の推進、さらに付近住民、特に高齢歩行者に対する交通事故防止の広報啓発を推進などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【浜松西署員から事故状況を説明】



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】